

地域おこし協力隊活動記

十人十色の暮らし

明けましておめでとうございます。地域おこし協力隊の菅原です。

小野町に来てから2度目のお正月。この時期になると、おせち料理が食べたくなります。おせちには、地域ごとの個性がよく出るもの。郷土料理が詰まったものようです。

福島の郷土料理といえば、県北地方を中心に親しまれている「いかにんじん」。ここ数年で全国的にもその名が知られてきた一品です。近所のスーパーでは「いかにんじんの素」という調味料まで売っていました。シンプルな料理なだけに、ご家庭の味もさまざまなのでしょう。十人十色の味から、我が家の味を作るのも一興ですね。

十人十色といえば、それにちなんだ名前の冊子を製作しました。タイトルは「^{ひとつ}人十色」。小野町に移住された10家族のインタビュー記事をもとに、十人十色の生活を送る様子を一冊にまとめました。移住を検討している方へ、小野町を知ってもらおう一助となればと思います。



ふるさと小野町会

ふれあい通信



左から2番目が私です。

会田 和夫

- 吉野辺出身
- 千葉支部

茨城の魅力度アップ

世間では都道府県の魅力度ランキングとして、ここ数年茨城が最下位を維持しているようだが、この風光明媚で人情豊かな茨

城県がなぜ?と思う時がある。例えば世界一の高さを誇る牛久大仏、若者に人気の「あみ」プレミアム・アウトレット、名峰筑波山、学園都市の並木道路、霞ヶ浦や土浦の全国花火大会など、県南地区だけでも数多い知れわたる観光スポットなどがある。茨城県中部、北部においても納豆やメロン、豊富な果物、海鮮物といった食文化も魅力的だ。

しかし逆に最下位であるがゆえに茨城という知名度を上げ、興味を持ってもらうチャンスでもある。

5年前に千葉支部活動で小雨が降る寒空の中、筑波山を観光したが、満開に近い梅園を眺め、牛久大仏を見学し、つくば駅で解散した時を思い出した。根本支部長と新田さんが千葉から駆け付け、茨城在住の3人と合わせ5人の参加で、皆さん大変満足されたことが印象に残る。

「ちばらき」の愛称のごとくたまには県をまたいで活動するのも意義深いと思う反面、ふるさと小野町出身で茨城在住者を仲間に加えたいと模索している昨今である。